

『一小さいじめ対策アクションプラン』～いじめゼロを目指す総合的施策～

**きめ細やかな児童指導**  
～いじめを許さない、居がいのある学級づくり～

- ▶外遊びの奨励
  - ・週1回の昼休みクラス全員外遊び（含担任）
  - ・遊びの中で子どもたちの変化に気付く努力を
- ▶全クラスで実施したQ-U検査の有効的活用
  - ・分析を職員研修で実施し方策について検討
- ▶健康観察の徹底・報告
  - ・養護教諭が欠席理由を詳しく把握
  - ・担任は欠席者に対して、電話等にて状況確認
- ▶教育相談旬間・「心のアンケート」
- ▶個別指導計画の作成
- ▶生活目標と一日の生活の徹底
  - ・靴箱、机、イス等の整理整頓の徹底
  - ・給食、清掃は師弟同行・率先垂範で
- ▶帰属意識の高い学級づくり
  - ・一人一人を大切にした掲示物等の環境整備
- ▶自己有用感を高める指導
- ▶実態に応じた日記指導

**分かる授業・魅力ある授業**  
～教育活動の充実によるいじめの未然防止～

- ▶分かったと実感できる授業づくりとそれを支える学業指導
  - ・自信をもたせる授業
  - ・友だち同士の関わり合いを大切にした対話のある授業の展開
- ▶道徳の授業の充実（強化内容項目の設定）
  - ・いじめに関する内容項目の授業の充実と「心を育てる学校教育の日」の道徳授業
  - ・児童の実態に応じた指導案作成
  - ・懇談会で保護者に話題や状況提供
- ▶自己実現が実感できる学校行事の実施
- ▶ハッピータイム（縦割り活動）
- ▶あいさつ運動
- ▶小中一貫教育における交流活動

**いじめゼロ、欠席ゼロのすみよい一小**

- ㊟すんで勉強に励む子ども
- ㊟みんなと仲よくする子ども
- ㊟よく働く子ども
- ㊟いつも明るく元気な子ども

【学校教育目標】

子どもたちをしっかりと見つめ、  
一人一人と深くかかわります

**表現力の育成**  
～自ら考え、表現できる子どもの育成～

- ▶自ら考えられる子どもの育成
  - ・人権感覚を持った子の育成  
(いじめに対して敏感な感覚を持たせる)
- ▶考えを表現できる子どもの育成
  - ・いじめの3層構造の観衆及び傍観者をいじめはよくないと表現できる（またはそういう雰囲気を出せる）よう育てる
- ▶話し方・聞き方のルールづくり
  - ・安心して話せる雰囲気づくり
- ▶小さな親切運動（委員会活動主体）
  - ・親切の木
  - ・自他のよさを素直に認められる

**危機管理体制と諸機関との連携**  
～いつどの学級でも起こりうるという認識で～

- ▶危機管理マニュアルの熟知
  - ・早期発見、早期対応を
  - ・教職員間の迅速な報告・連絡・相談・確認等
- ▶いじめに対する教職員の意識高揚
  - ・県教委からのいじめ問題におけるチェックポイントを活用。定期的に確認し、教職員の意識高揚を図る。子どもを見る目。
- ▶意図的・計画的に共通理解の場を設定
  - ・打合わせ時に児童指導に関する情報共有について設定
  - ・職員会議の最後に児童指導について項立て
- ▶いじめに対する学校の姿勢の開示（児童及び保護者、地域）
- ▶児童指導対策委員会と児童指導対策会議
- ▶関係諸機関との連携
  - ・青少年相談室や市教委との連携
  - ・防犯ボランティア等からの情報提供
- ▶保護者との連携
  - ・信頼関係の構築・情報提供及び啓発

特に重点としたい取り組み